

日本保健福祉学会誌 執筆規程

(制限事項)

1. 投稿原稿は原著、論説、研究ノート、総説、資料ともに、図表（写真を含む。以下同様）を含み、刷り上がり10頁以内が望ましい。ただし刷り上り1頁は400字詰め原稿用紙のほぼ4枚に相当する。
2. 図表は白黒原稿に限る。

(提出の方法と様式)

3. 投稿原稿は、原則としてパーソナルコンピュータで作成し、電子データをメール添付で送信することにより提出する。
4. 投稿原稿のうち表紙、和文抄録、本文（文献を含む）、英文抄録（Abstract）は、この順でひとつのファイル（以下、本文等）にまとめ、Microsoft社のWord形式のファイルで提出する。図表は本文等と別ファイルで、Word、Excel、PowerPointまたは画像ファイル（PNG、JPEG、GIFなどのWindowsでの一般的な形式）で提出する。
 - (1) 表紙には表題、論文枚数、図表の数、希望する原稿の種類、著者名と所属（共著者含む）を記載する。なお、原稿には著者の連絡先は記載しないこと。
 - (2) 和文抄録は800字程度とし、目的、方法、結果、結論に分けて、見出しをつけて記載する。末尾にキーワードを付記する。
 - (3) 英文抄録（Abstract）は300語程度とする。必ず専門家または英語母国語話者のチェックを受け、表題、著者名と所属（共著者含む）、抄録、キーワードの順に記載する。表題はすべて大文字とする。なお、採択決定後、最終原稿の英文表題、英文抄録、その他英文を用いた部分については、投稿者の費用負担により専門家による英文校閲を受け、その証明書を提出すること。
 - (4) キーワードは5個以内とし、日本語、英語ともに日本医学会「医学用語辞典」、医学中央雑誌刊行会「医学用語シソーラス」、日本科学技術情報センター「JST科学技術用語シソーラス」、米国国立医学図書館「MeSH」に記述された索引語を参考として記載する。
 - (5) 本文等の書式およびレイアウトは下記を参考に、Wordの初期設定に準じたものとする。
 - 用紙：A4版 縦置き 余白 上35mm 下30mm 左右30mm
 - 文字数と行数：横書き 1行文字数40 1ページ行数36
 - フォント：10.5ポイント 全角文字は明朝体 半角文字は明朝体またはセリフ体 数字・アルファベットは半角文字を使用
 - (6) 本文等には表紙を含め、ページ中央下部にページ番号を挿入し、「ページ設定」の「行番号」機能を用いて左余白に行番号（ページごとに振り直し）を表示する。
 - (7) 図表は著者の作成した原稿がそのまま画像として取り込まれ、拡大・縮小されて掲載される。本誌の誌面サイズを考慮し、レイアウトの整ったものを作成すること。画像ファイルは高解像度のものを提出すること。

(提出先)

5. 投稿原稿のファイルは、下記へ電子メール添付により提出する。メール本文には、著者（共著の場合は筆頭者または責任著者）の連絡先（住所、電話、e-mail）、別刷必要部数および編集委員会への連絡事項を記載する。メールヘッダ、本文を含めて10MBを超える場合は、送付方法について問い合

わせること。なお、編集委員会の指示のない限り、投稿原稿を郵送・宅配便等の方法で送付しないこと。また、送付された投稿原稿および原稿の記録された媒体等の返却は行わない。

〒 260-8703 千葉県千葉市中央区仁戸名町 673

淑徳大学千葉第二キャンパス内 日本保健福祉学会編集委員会

電話 043-305-1888 内線 307 / e-mail : hwelfarej@gmail.com

(受付の確認)

6. 投稿原稿に対して、編集委員会では様式等の確認を行い、査読可能な原稿に対して、受付日、受付番号などを記載した受付通知書を発行する。

(使用言語)

7. 投稿原稿は原則として日本語とする。ただし図表などの説明文については英語を用いてもよい。英語による投稿論文の場合は事前に問い合わせ、編集委員会の許可を得た上で執筆するが、制限頁数などについては別途定める。

(本文の表記法)

8. 投稿論文のうち、原著等の論文の構成は原則として以下の通りとする。
 - (1) 和文抄録 目的・方法・結果・結論 (Abstract に相当)
 - (2) 緒言 (研究の目的)
 - (3) 研究方法 (方法と対象等)
研究・調査・実験・解析に関する手法の記述、対象者の選定方法、資料・材料の集め方、倫理的配慮 (倫理審査を受審した場合は、倫理審査委員会名および承認番号または承認年月日を記載する。)
 - (4) 研究結果 研究などの結果・成績
 - (5) 考察 結果の考察・評価・限界
 - (6) 文献 (文献の記載方法は後述)
 - (7) 英文抄録
9. 本文の表記法については以下の通りとする。
 - (1) 現代仮名遣いを用い、簡潔に記述する。
 - (2) 章、節、等の数字は I . 1 . 1) の順に使用する。
 - (3) 数字は算用数字を用い、単位や符号は慣用のものを用いるが、特殊な、あるいは特定分野のみで用いられている単位、符号、略号ならびに表現には、必ず簡単な説明を加える。
 - (4) 外来語はカタカナで書く。外国人名や適当な日本語訳のない術語などは原綴を用いる。
 - (5) 図表の原稿は明瞭なものでなければならない。図 1、表 1 などの番号および表題を付け、本文中において 1 回以上言及すること。挿入位置は編集委員会において調整する。

(文献記載の様式)

10. 文献は本文の引用箇所の肩に 1)、1～5) などの番号で示し、本文原稿の最後の一括して引用番号順に記載する。文献の著者が 3 名までは全員、4 名以上の場合は筆頭者名のみあげ、「他」「et al」とする。同じ文献を引用する場合は同じ番号を用い、同じ書籍の異なるページを引用する場合は、番号を改めて書誌事項を記載し、「前掲書」、「前掲論文」等の表記は用いない。
11. 雑誌などの略名は、邦文誌は医学中央雑誌刊行会編「医学中央雑誌収載誌目録略名リスト」に、欧文誌は「Index Medicus」に従って記載するが、雑誌所定のものがあればこれを用いる。

(記載方法の例)

12. 記載方法は下記の例に従う。

- (1) 雑誌の場合（オンラインで発表されていて、号や頁が与えられていないものは、DOI (Digital Object Identifier) が付与されている場合は明記すること。）
小川 浩，宮崎恭一，林 高春．5日禁煙講習会の成績．日本公衛誌．1988．35．80-84.
Browson RC, Chang JG, and Davis JR. Occupation, Smoking, and Alcohol in the Epidemiology of Bladder Cancer. Am J Public Health. 1987. 77. 1298-1300.
- (2) 単行本の場合
重松逸造，小張一峰，今川八束．伝染病予防必携第3版．日本公衆衛生協会．1986. 25-30.
西岡和男，公衆衛生に関する国際統計．橋本正己，丸地信弘，川口雄次，他編．世界の公衆衛生．日本公衆衛生協会．1981. 747-765.
Rothman KJ. Modern Epidemiology. Brown and Co. 1986. 56-57.
- (3) 訳本の場合
Last JM. A Dictionary of Epidemiology. Oxford University Press. 1983.
重松逸造，春日斉，柳川洋訳．疫学辞典．日本公衆衛生協会．1987. 60-61.
- (4) インターネットの場合（インターネット以外での入手が困難で、公的機関等によって作成されたもので、長期にわたって掲載される可能性の高い資料に限る。）
厚生労働省．統計情報をご利用の方へ．<https://www.mhlw.go.jp/toukei/goriyou/>（2019年10月10日アクセス）．
- (5) 原則として、特殊な報告書、投稿中論文、私信、その他で、一般的に入手不可能な資料は文献としての引用は認めない。

(印刷の体裁)

13. 印刷の体裁は編集委員会に一任する。

付則：この改正規程は2022年4月1日より施行する。

日本保健福祉学会誌 編集委員（任期：2021年4月1日～2024年3月31日）※

委員長	延原 弘章	（埼玉県立大学）
副委員長	有村 大士	（日本社会事業大学）
	渡邊 多恵子	（淑徳大学）
	渡辺 裕一	（武蔵野大学）
委員	小林 理	（東海大学）
(50音順)	佐藤 美由紀	（佐久大学）
	篠原 亮次	（山梨大学）
	宣 賢奎	（共栄大学）
	徳田 律子	（東北文化学園大学）
	原田 直樹	（福岡県立大学）
	望月 宗一郎	（健康科学大学）

※前号および前々号で任期を誤って記載していました。訂正いたします。